



## 病院のうごき

### 新採用者77名に辞令を交付

#### 令和4年度入会式を実施

令和4年度の入会式が4月1日に新棟3階の講堂で行われ、新採用者77名に対し富満院長から辞令が渡されました。

「富満院長は挨拶の中で「当院は取手市と竜ヶ崎市の、我孫子市などを含めた約50万人の医療圏の病院です。周りの医療機関を支援する地域医療支援病院でもあります。地域の住民の方達や医療機関を全面的にバックアップしていく役割をもっており、コロナ禍においても多くの患者さんを受け

入れてきました。これから選ばれる病院になるために、みんなで見聞を出し合って考え、決定し実行していく透明性の高い病院を目指したいと思います。是非みなさんも毎日色々なことを考え、今日よりも明日の自分が良くなるように努力してください。自信をもって振り返ることが出来るように毎日を過ごしていきましょう。」と述べ新採用者を激励しました。

新採用者に対する集合研修



入会式の様子



感染管理の研修風景

も4月8日まで行われ、感染管理の研修では、感染管理認定看護師から防護服等の着脱方法について説明を受けながら実習していました。

### 正面玄関の雰囲気明るくなりました



当院の正面玄関の防風スクリーンが強化ガラスに付け替えられ、見通しが良くなりました。玄関に向かって左側には自動ドアも設置され、これまでよりエントランスホールに吹き込む

冷風が少なくなったように感じます。外側には病院名の看板が新たに取り付けられるなど、正面玄関の雰囲気が明るくなりました。

#### 今月の表紙

緩和チームのメンバーです。がん相談窓口にもお気軽にご連絡ください。がんの悩みを少しでも軽減できるようサポートいたします。



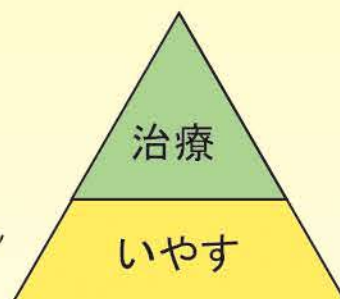
# 「かんわチーム」がサポートします

一人で悩んでいませんか、どうぞ私たちにご相談ください

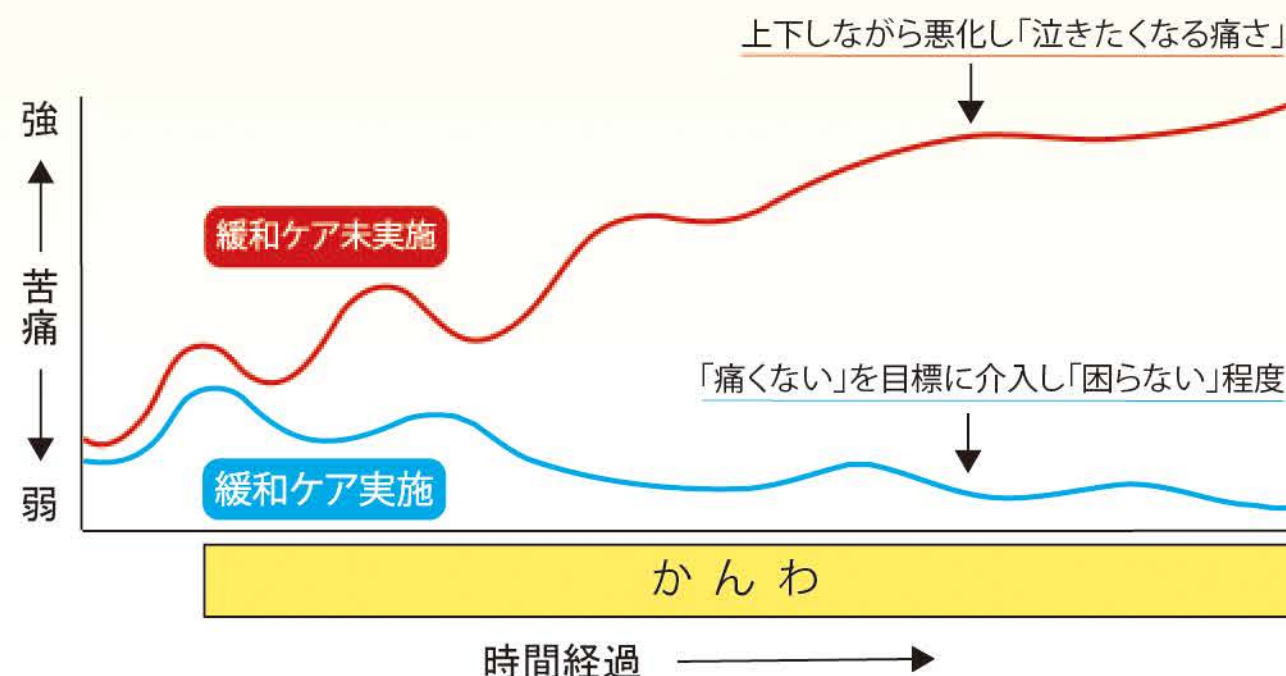


## ● かんわ（緩和）とは「いやす」こと

「かんわ」と聞くと、「末期がん」と連想するかも知れません。  
しかし、本来「かんわ」とは、「苦痛をやわらげること」です。  
早期のがんであっても「苦痛」がある場合は（「治す」ことももちろん  
行いますが）まずは、苦痛を取り除くことを並行して行います。



## 緩和ケア実施と未実施の場合の苦痛の変化（イメージ）



## ● かんわチーム

- ・「治す」も「かんわ」も主治医がメインに行いますが、なかなか難しいこともしばしばあります。そのような場合に、かんわチームが介入し主治医にアドバイスします。
- ・毎週木曜日の午後にカンファレンスを行い、必要に応じて診察も行います。

## ● 苦痛（問題）は3つに分類されます

- ①体の苦痛（痛み、だるさ、吐き気など）
- ②社会的問題（自宅で過ごすための支援、仕事や家庭の悩み、最期をどうやって過ごすか等）
- ③精神的な問題（死に対する恐怖など）

## ● 現在直面している問題や抱えている困りごとなどを明確にして、具体的に解決する方法を一緒に考え、実行します。

## ● かんわチームのメンバー

医師、緩和ケア認定看護師、放射線治療室看護師、薬剤師、臨床心理士  
理学療法士

## がん相談窓口

電話：相談支援センター直通電話  
0297-72-5763  
時間：火曜日 14:00～16:00  
木曜日 10:00～12:00 13:00～14:00  
料金：医療保険 1 割負担の方 200円  
医療保険 3 割負担の方 600円  
対象：がん患者さん、ご家族  
相談を受ける人：緩和ケア認定看護師（鈴木）



# おいしい治療食のレシピ

JAとりで総合医療センター 栄養部



**材料** 1人分  
ご飯 150g

## ● えび玉あんかけ

・卵 75g (Lサイズ1個)  
・冷凍むきエビ 15g (小3個)  
・玉ねぎ 15g (中1/8個)  
・にんじん 15g (1/8本)  
・生椎茸 7.5g (中1/2～3/2)  
・塩 0.5g (ひとつまみ)  
・こしょう 0.05g (少々)  
・サラダ油 4g×2回 (小さじ1杯×2回、  
野菜を炒める時と卵を焼く時)  
A酢 5g (小さじ1杯)  
A砂糖 3g (小さじ1杯)  
A醤油 3g (小さじ1/2杯)  
A水 5g (小さじ1杯)  
A水とき片栗粉 適量  
・冷凍グリーンピース 3g (彩りに散らす程度)

## ● 茄子の含め煮

・茄子 60g (中1本)  
・みりん 3g (小さじ1/2杯)  
・醤油 3g (小さじ1/2杯)  
・だし汁 20g (大さじ1+小さじ1杯)

## ● からし醤油和え

・もやし 60g  
・三つ葉 10g  
B醤油 3g (大さじ1/2杯)  
Bだし汁 5g (小さじ1杯)  
B粉からし 0.5g (少々)

## ● フルーツポンチ

・白桃缶 20g  
・パイナップル 20g  
・みかん缶 10g  
C粉寒天 1g  
C砂糖 3g (小さじ1杯)  
C水 100ml  
・干しブドウ 5g  
・シロップ (砂糖 10g、水 50ml) を煮溶かして  
冷やしたもの)

## 作り方

### ● えび玉あんかけ

- ① 冷凍むきエビ、冷凍グリーンピースは軽くボイルしておく。
- ② 玉ねぎ、にんじん、生椎茸は細切りにしておく。
- ③ 熱したフライパンにサラダ油を敷き、②の野菜を入れて炒める。  
塩こしょうで味をととのえる。
- ④ ボールに卵を割り入れ、よくほぐす。③の野菜とボイルしたむきエビを加え混ぜる。
- ⑤ 熱したフライパンにサラダ油を敷き、④の卵液を入れ丸く焼く。  
(甘酢あん)  
① 小鍋にAの酢、砂糖、醤油、水を入れて火にかける。  
② 鍋の砂糖が溶けたら、水溶き片栗粉を加え混ぜ、とろみをつける。  
(仕上げ)  
器に焼いた卵焼きを乗せ、甘酢あんをかける。茹でたグリーンピースを飾り完成。

### ● 茄子の含め煮

- ① 茄子は食べやすい大きさに切る。
- ② 鍋にすべての材料を入れて煮る。茄子にしっかり火が通ったら完成。

### ● からし醤油和え

- ① 三つ葉はよく洗って食べやすい大きさに切る。
- ② 鍋にお湯を沸かし、もやしと三つ葉を茹でる。火が通ったらザルにあげる。
- ③ ボールにBの調味料を入れてよく混ぜ、茹でたもやしと三つ葉も加え和える。

### ● フルーツポンチ

- ① Cの寒天・砂糖・水を鍋に入れよくかき混ぜ、火にかける。粉寒天が溶けたら器に流し入れ、冷蔵庫で冷やし固める。固まったら賽の目に切る。
- ② 鍋にシロップ用の水と砂糖を入れ火にかける。(電子レンジで加熱してもよい) 砂糖が溶けたら火を止め、冷蔵庫で冷やす。
- ③ 白桃缶、パイナップル缶は食べやすい大きさに切る。
- ④ 器にすべての材料を入れ、シロップをかけて完成。  
※フルーツ缶は生果物に変えても良い。  
※シロップは炭酸ジュースで代用しても良い。

|         | エネルギー<br>(kcal) | 蛋白質<br>(g) | 脂質<br>(g) | 塩分<br>(g) |
|---------|-----------------|------------|-----------|-----------|
| ご飯150g  | 243             | 4.3        | 0.6       | 0         |
| えび玉あんかけ | 223             | 13.0       | 15.8      | 1.2       |
| 茄子の含め煮  | 20              | 0.9        | 0.1       | 0.4       |
| からし醤油和え | 14              | 1.5        | 0.2       | 0.4       |
| フルーツポンチ | 106             | 0.4        | 0         | 0         |
| 合計      | 606             | 20.1       | 16.7      | 2.0       |

# 心臓病食

## 臨床工学技士の役割

No.2

人工呼吸器部門 臨床工学部 田山 剛

機器管理点検業務においては、人工呼吸器8機種20台、酸素療法で使用する機器4台を臨床工学部(CE室)で一括管理しており、安全に使用できるよう病棟へ貸し出す前に機器の点検を行っています。また、機器が患者様に使用された際には病棟に赴き、機器が安全に使用されているかも毎日確認を行っています。



## 人工呼吸器等の 運転状況を毎日確認

今回は人工呼吸器業務について紹介いたします。人工呼吸器業務としては、院内で使用する呼吸療法に関連する機器の管理・点検、院内スタッフへの教育や在宅で使用される人工呼吸器の機種選定・管理、介護される御家族への機器教育など人工呼吸器に関わる全ての業務を行っています。

## 院内と在宅で使用する 人工呼吸器を管理・点検



右：人工呼吸器の運転状況を確認する臨床工学技士



上：CE室で中央管理している人工呼吸器

## 患者さんの病態を 多職種と共に評価

他にも機器管理だけでなく臨床面において、呼吸ケアサポーターチームの一員として、週一回の呼吸ケアラウンドに参加し、医師、認定看護師、理学療法士と共に人工呼吸器を使用している患者さんの病態や安全面の評価を多職種間で行い、人工呼吸器から早期に離脱できるように努めています。

## 健康管理 センター

## 新型コロナワクチン接種後の抗体検査を実施中です

健康管理センターでは、新型コロナウイルスS(スパイク)抗体検査を実施しています。この検査では主に新型コロナワクチン接種後の抗体を測定します。現在の感染の有無はPCR検査又は抗原検査によります。当検査とは異なりますのでご注意ください。また、検査結果に関わらず、今後ともマスク等の感染対策は必要です。



|            | ワクチン接種済の方                                      | ワクチン未接種の方                  |
|------------|------------------------------------------------|----------------------------|
| 抗体が陽性だった場合 | ワクチン接種により体内に抗体ができた可能性が高い。                      | 過去に新型コロナウイルスに感染したことが想定される。 |
| 抗体が陰性だった場合 | ワクチン接種の効果が不十分です。3回目以後のワクチン接種については国の指針に従ってください。 | 未感染と推定される。                 |

## 費用

|                   |            |
|-------------------|------------|
| ドックオプション          | 4,400円(税込) |
| 健診(当日採血ありの方)      | 4,400円(税込) |
| 単独検査・健診(当日採血なしの方) | 7,700円(税込) |

詳細は健康管理センターまでお問い合わせください。 TEL 0297-74-0622



## NPO法人らしん盤 多機能型事業所 そよかぜ



多機能型事業所  
そよかぜ



作業所の様子

精神障害者の方の就労支援を行っている多機能型事業所「そよかぜ」は取手市寺田（市役所・福祉交流センター向かい）にあり、特定非営利活動法人「らしん盤」が管理、運営しています。2階が作業所で、1階の「カフェそよかぜ」ではランチも楽しめます。

「らしん盤」は、在宅精神障害者が孤立しないように、社会参加や自立、経済活動のための支援を行う目的で2004年に設立されました。その後、清掃事業や農園作業、各種バザーなど幅広く活動が続ける中、家族会の協力を得ながら2007年4月に地域活動支援センターを設立、運営しました。さらにその後、「そよかぜ」を設立するために農園事業やクロネコヤマトのメール便配達の実業を行い、2012年に就労移行支援事業所「そよかぜ」を開設しました。2014年には就労継続支援事業B型を開始し、2019年には就労定着支援事業も開始しました。

「そよかぜ」では次の3種類の支援事業を行っており、精神保健福祉士や公認心理士、社会福祉士といった専門資格を持った方々などが支援に当たっています。①就労移行支援：企業での就労を希望する方に対して、必要なスキル取得と人間関係を築きやすいように、対人技能や生活リズムを身に付けてもらうことに重点をおいた支援を行います。②就労継続

支援B型：一般企業での就労が難しく訓練が必要な方に対して、雇用契約を結ばずに就労の機会を提供するサービスです。就労支援や生活支援を行います。本人と話し合い、本人の意思を優先することを大切にしています。希望や体力に沿った作業内容を組み立てて目標を設定し、作業に対しては工賃が支払われます。個別支援計画を作成しながら達成度を定期的にモニタリングしています。また、相談支援専門員の方や関係機関と情報共有し、ケース会議も開きながら支援内容を客観的に評価するように努め、スタッフの研修も行っています。③就労定着支援：長く働きつづけられるように、会社の方と協力しながら生活面での課題などを解決するためサポートや、再就職の支援なども行っています。（現在、取手市で就労定着支援を行っているのは「そよかぜ」のみ）

現在40名以上の方が利用されており、これまでに「そよかぜ」の支援を受けながら就職された方は30名です。たくさんの賛助会員やボランティアの皆さんにも支えられて運営しています。

就労支援を必要としている方達一人一人に寄り添い、十分なコミュニケーションをとりながら本人の意思を尊重した支援が行われています。

本人と話し合い、  
意思を尊重して支援

## 連携医のご紹介

## 医療法人社団創知会 メモリークリニック取手



「メモリークリニック取手」は、理事長の40年にわたる認知症の研究と臨床、6年間の認知症クリニックでの試行錯誤から、軽度認知症（MCI）に対するアプローチを完成させ、取手市内にオープンさせていただきました。

「メモリークリニック取手」は、初期診断から認知症予防のデイケア、治験など、総合的に軽度認

理事長 朝田 隆  
院長 磯崎 光宏

診療科目 精神科・神経内科

診療時間 午前：月・火・水・木・金・土 9時～12時  
午後：月・火・水・木・金・土 14時～17時

休診日 日曜日・祝日（月曜日を除く）

連絡先 TEL 0297-79-6166  
〒302-0004 取手市取手2-8-8  
取手赤羽ビル3階

知症（MCI）の治療にあたるクリニックです。このように総合的に認知症を進ませない、または改善させる目的で、認知機能アップデイケアに力をいれて頑張っています。

JAとりで総合医療センターの医療スタッフ、地域連携室の皆様と連携し、地域医療を支えています。

## わたしたちの職種を ご紹介します

「視能訓練士」、皆さんは聞き慣れない職種だと思います。私たち視能訓練士は、昭和46年に制定された国家資格を持つ眼科領域の医療技術者です。眼科外来にて、医師の指示のもと診療に必要な視力・眼圧・視野・眼底検査などの検査を的確に行い、診察がスムーズに進むようにサポートしています。

眼科には乳幼児から高齢の方まで幅広い年齢層の患者さんが受診されます。各種検査をスムーズに受けられるよう、個々の患者さんに対して検査

## 視能訓練士

方法を分かりやすく説明するなど適切なコミュニケーションを心がけています。患者さんに関わる時間は短いですが、常に患者さんの声に耳を傾けるように努めています。

昨今の生活環境から、パソコン・スマホにゲームなど、目に負担になる機会が増えています。目のかすみや見え方などで悩まれている方は眼科までご相談ください。なお当院では、コンタクトレンズの相談・検査及び診察はお受けできませんのでご了承ください。



連絡先 NPO法人らしん盤 多機能型事業所 〒302-0021 取手市寺田6337番地  
らしん盤 理事長 岡田 儀春 TEL/FAX 0297-84-6475  
そよかぜ 施設長 菅野 正昭